『次世代の超伝導新現象・新デバイス』

近年、トポロジカル量子現象をはじめとする非従来型の量子状態が注目され、様々な新現象が見出されるとともに、将来的な実用化を目指し、それらを活用したデバイス開発が活発に行われています。そこでこれらの分野で最新の研究を行っている講師の先生方にご講演をいただきます。多くの皆様にご参加いただき、物性理解や新デバイスのヒントが得られる機会となれば幸いです。

主催：応用物理学会 超伝導分科会

協賛：日本物理学会

後援：産業技術総合研究所

日時：2023年12月19日（火）13:00 ～ 17:25

場所：産総研臨海副都心センター 別館会議室１

https://www.aist.go.jp/waterfront/ja/access/

申し込み Web サイト

プログラム	
13:00～13:05	開会挨拶　超伝導分科会幹事長
13:05～13:45	**FeSe 系超伝導体における新奇電子対状態** 芝内孝禎（東京大学）
13:45～14:25	スピネル酸化物超伝導体の電子状態イメージング 岡田佳憲（沖縄科学技術大学院大学）
14:25～15:05	非従来型超伝導体のエッジ状態とトンネル効果 柏谷聡（名古屋大学）
15:05～15:20　休憩	
15:20～16:00	ゼロ磁場超伝導ダイオード効果 成田秀樹（京都大学）
16:00～16:40	銅酸化物高温超伝導体単結晶を用いたテラヘルツ光源の開発 柏木隆成（筑波大学）
16:40～17:20	ヘリウムイオン顕微鏡を用いた超伝導デバイス作製技術 三澤哲郎（産業技術総合研究所）
17:20～17:25	閉会挨拶　研究会担当幹事

参加費（消費税、資料代込み）：

超伝導分科会員	2,000 円
応用物理学会員	3,000 円
物理学会員	3,000 円
学生	1,000 円
非会員	4,000 円

申し込み方法： https://eventpay.jp/event_info/?shop_code=4273351170551200&EventCode=P600499863
からお申し込み下さい。上記 QR コードからも入れます。

担当・問合せ先：

飯田和昌（日本大）iida.kazumasa@nihon-u.ac.jp

荻野拓（産総研） h-ogino@aist.go.jp

小黒英俊（東海大）h-oguro@tsc.u-tokai.ac.jp

掛谷一弘（京都大）kakeya@kuee.kyoto-u.ac.jp